

後志教育

No.27

後志教育研修センターだより
平成22年6月 3日発行
TEL0136-22-1337
FAX0136-22-2681

22年度 研修講座は「へき地複式教育」から

5月19日、本年度初めての研修講座「へき地複式教育」を倶知安町立西小学校樺山分校、二セコ町立近藤小学校で開催致しました。複式授業に悩んでいる先生方が講師の授業を観て少しでも悩んでいることを解消してほしいという考えから、この時期の開催となりました。小樽市から2名の先生方の受講や銀山中学校の先生、今年度後志へき地複式連盟の研究大会を開催する蘭越町立昆布小学校からもたくさんの先生方が受講してくれました。授業後の研究協議でも「学年の児童1名しかいないときどのように考え方を広めたらよいのか?」「理科、社会科の異内容指導を実際どう工夫しているのか?」など受講した先生方が一人ずつ質問したりする場も設けられました。講師がその質問に適切に対応してくれたことで受講者も満足する研修であったと感じ取れました。事前に悩みや聞きたいことをアンケートの形でおさえていたことも協議を深める有効な手だてであったと思います。授業や会場を提供していただいた両校に心より感謝申し上げます。

樺山分校の学校便りに今回の講座について記載されておりましたので文章をそのまま載せます。

5月19日

たくさんの先生方が観に来ました。

後志研修センター主催の研修講座「へき地複式教育」が樺山分校と近藤小学校を会場に開催されました。この講座は、昨年行われた「後志へき地複式教育研究大会」等、樺山分校の研究実践や研究成果が高く評価され、依頼されていたものです。

今年度新たに「複式授業」を担当することになった管内の先生方や本校職員を含め、約30名の方々が樺山分校に来校し「5・6年学級」

(高橋教諭)の「算数」の授業を参観していききました。たくさんの先生方に困まれてやや緊張気味の児童もいましたが、課題に向かって熱心に取り組み、がんばっている姿が多く見られました。参観された先生方からは、「大変参考になった。」「授業で取り組んでいたことを自分の学校でもすぐに生かしていきたい。」等の声が聞かれました。本校においてもさらに授業研究を進め、児童に様々な力が身につく「複式授業」を実践・提起・発信し続けていきたいと考えております。



樺山分校の授業風景

6月の予定

- 1日(火) 校内研修講座
- 2日(水) 事前研 学校保健
- 4日(金) 組合教育委員会
- 10日(木) 英語科研修講座
- 16日(水) 社会科研修講座
- 22日(火) 特別活動
特別支援教育研修講座
(~23日)
- 事前研 学校経営1、学級経営
(小)
- 25日(金) 音楽科研修講座

今年の教育講演会 この人をお願いしました

例年実施しております後志教育講演会、教職員厚生会の支援を頂きながら今年も次のように計画しております。夏季休業中の研修計画に入れておいてください。

日時 平成22年8月5日(木) 13:30~
会場 倶知安第一会館プラザホール
講演題 「求められる人」とは
講師 千石涼太郎 氏
(ノンフィクション作家・エッセイスト)



講師 千石涼太郎氏

◆ 講師略歴

小樽市生まれ。ノンフィクション作家・エッセイスト。大学卒業後出版社を経て執筆活動に入る。現在は地方文化や食文化、県民性、北海道、旅や観光などを主なテーマとしている。

TVやラジオのコメンテーター、新聞紙上で人生相談のアドバイザー、商品開発や地域の活性化のプロデュースを行いつつ、市民大学講座や企業講演など、北海道を盛り上げるための講演やイベントにも積極的に参加している。

小樽ふれあい観光大使。「北海道ワインツーリズム」推進協議会会長。

1道1都3県を渡り歩き、一昨年から札幌市に在住。

◆ 著書

「なまら楽しい！北海道事典」
(北海道新聞社)

「やっぱり北海道だべさ！」
(双葉社)

「なまら北海道だべさ！」
(双葉社)

「元気が湧いてくる言葉、
心が軽くなる言葉」
(朝日ソノラマ)

道民性と北海道の特徴を踏まえた上で、これからの子ども達をどう育てるのか、そして、未来のために、いま大人達はどのように変わっていくべきかを話していただくと期待をしております。小樽市出身ということもありますので、小樽の先生方もこそってご参加ください。

後志教育研修センターを身近におくために、パソコンのお気に入り画面に研修センターホームページを入れてください。

教頭先生、研修担当の先生 職員室回覧願います。